



2018年度 エプソン情報科学専門学校 実行計画

学校長
印鑑省略

学校評価項目	<p>【学校創立の原点】 設置趣意書より抜粋 エプソン情報科学専門学校が全人的教育により、高度情報化社会をリードする中堅技術者の育成に傾注できるように努力していく覚悟である。</p> <p>設置趣意書より抜粋 また、単に、技術的に優れた人材の育成だけでなく、教養科目の時間をできるだけ多くとり、心と技術の調和のとれた、全人的教育を目標とする。</p>	<p>教育理念とは 三心：通いあう心、信じあう心、ひたむきな心 三共：共鳴、共感、共働（協働）の感性 三学：自学、究学、徹学の態度</p> <p>教育方針とは 1. 通いあう心、信じあう心、ひたむきな心 の育成 1. 共鳴、共感、共働（協働）の感性 の育成 1. 自学、究学、徹学の態度 の育成</p>	<p>【長期ビジョン】 社会人基礎力と専門性を有し、社会になくってはならない人材を育成し続ける。</p> <p>【中期基本方針（2018～2020）】 1. セイコーエプソンと密接に連携して、最新の実務知識、技術、技能を身につけられる実践的な教育を目指す。 2. 生き残りをかけた再編を、確かな実績によって足場固めとし、経営の自立、好転を目指す。</p>
①学校の教育理念・目標			

分担	学校評価・項目	No.	推進項目	No.	具体的な推進計画内容	到達目標（期待される成果）
共通	④学修成果	1	退学者の削減	1	各部門で実施	目標：昨年実績以下。 チャレンジ目標：退学者ゼロ。
	⑧財務	2	経費削減・ムダの排除	1	各部門での徹底した合理化・効率化	予算目標の達成。
	②学校運営	3	「職業実践専門課程」の定着化	1	各部門で実施	各種仕組みの精査、定着化。
	②学校運営	4	学校評価の向上	1	各部門で実施	前年度評価点以上の達成。
	②学校運営⑥教育環境 ⑨法令等の遵守	5	遵法対応・安全衛生管理 環境活動の強化	1	各部門で実施	問題発生ゼロ。
教務部	③教育活動	1	「5年後10年後に会社になくはならない人材」を目指した育成	1	基礎学力を身に付けさせる	追試験件数前年度以下、A評定率前年度以上を達成する。 学科長およびホームルーム担当としての学生の学習状況の把握とフォローアップする。
		2		2	チーム力を向上させる	グループワークを取り入れた授業数を昨年以上、実施する。 課題への継続的な取り組みを通して、目標達成を体験させる。
	③教育活動	1	教える力の向上（どうやって身に付けさせるか）	1	自分の専門領域を広げる、深掘りする	独自学習、通信教育、セミナー参加、資格取得等に「ついで」に取り組む。 非常勤講師および自身の授業評価（授業評価アンケートや面談）による実践状況把握と改善。
		2		2	教える力を磨く・鍛える	常勤/非常勤、学科の枠を超えてお互いの授業を参観して授業方法に改善を加える。 授業評価アンケートによる学生満足度を向上させる。
（学務）	⑤学生支援	1	学科、学年を越えて交流し、共に協力し合う人間性の教育と達成感の共有	1	学生に向けた確実な情報伝達の仕組みを構築し、効率化する	昨年度以上に効率化する。
				2	学生の相談に対応する各種窓口の存在について周知する	昨年度以上に周知する。
				3	ルール、マナーの重要性を授業、集会を通じて教えて行く	校則、寮則などの重大違反を発生させない。 授業以外のイベントにおける遅刻・違反欠席者を低減する。（1回平均1人以下に）
	④学修成果	2	学生の資格合格率の向上	1	資格試験につき、のべ受験者数に対する合格率を向上させる	合格率昨年度以上を達成する。
		2		2	学生個人の能力に応じた資格取得を推進。更に上位資格（Bランク以上）への挑戦を促す	特進クラスメンバーを中心に挑戦させ、特別表彰(10P以上)を各学科1人以上出す。
就職指導部	④学修成果 ⑤学生支援	1	就職内定率の確保とエプソングループをはじめとした専門性を生かせる企業・個人の能力を生かせる企業への就職支援	1	校内での会社説明会の招致拡大。（新規実施企業の開拓・企業との信頼関係強化）	就職内定率95%以上を達成する。 順調な就職活動のため、周囲の状況なども勘案し、臨機応変に可能な限りの施策を講じる。
				2	セイコーエプソン人事部との連携によりエプソンファンを増やす。 併せてより早い段階から学生の就活意識を高める。	
				3	「自己分析」「職種理解」を基礎に、書類作成や面接力を向上させる。就活力をアップさせるのための授業、イベントの実施。 企業側の考え方を理解させ、就活に対し自信を持たせる。	
入 タ ー シ ー セン	⑦学生の受け入れ状況	1	募集者数の拡大	1	「エプソン特進クラス」「高い就職内定率」「全学科の職業実践専門課程を認定」を周知	募集者数の向上。
				2	ガイダンス参加の拡大	イベント参加者数の向上およびガイダンス参加者数の向上。
事務局	⑧財務	1	経費削減・業務の効率化の強化	1	校舎統合による業務の効率化と経費削減	昨年度以上の成果をだす。
		2	会計監査への対応	2	新学校会計制度に対応	問題発生ゼロ。